

## 韓国留学体験談

8月31日から12月26日までの約4か月間、韓国に留学して感じたことを述べていきます。

まず初めに、私たちが住んでいた寄宿舎は学校と最寄り駅の間位置していたのでとても住みやすかったです。毎週金曜日の午後と土曜日、日曜日は授業が休みなため、各自好きなどころへ遊びに行っていました。主な交通手段は地下鉄で、場合によってバスやタクシーを利用することもありました。韓国の公共交通機関は日本に比べて安く、500円程度あれば地下鉄とバスでソウル市内のどこにでも行くことができました。バスやタクシーは運転が荒いことが多いので車酔いしやすい人は地下鉄で移動することをお勧めします。

次に、韓国での食事についてです。韓国料理と聞けば辛いという言葉が想像されるのではないのでしょうか。まさにその通りで、日本で食事しているときに辛いと感じることが多い人は韓国で食事する際、十分に気を付けたほうが良いでしょう。寄宿舎の周りにはたくさんの飲食店があるので、ぜひたくさんさんの飲食店に足を運んでお気に入りのお店を見つけてみてください。また、韓国はカフェ文化が栄えているので休日は友人とカフェ巡りをしている人が多かったように感じました。韓国の飲食店やカフェは夜遅い時間まで営業をしているお店が多く、寄宿舎の周りは常に明るかったように思います。

最後に韓国語トウミ（チューター制）についてです。トウミとの交流は主に一週間に一回、約一時間程度お話しをしたり、学習面で助けていただいたりしていました。内容や会う頻度はトウミによってかなり差がありました。私のトウミは日本語が喋れず、すべて韓国語でコミュニケーションをとっていました。最初は自分の韓国語能力に自信がなく、先生やクラスメイトと違って早口な韓国語だったため、聞き取ることに精一杯でした。しかし授業を重ねていくにつれ、耳が慣れていき聞き取れるようになっていきました。授業中に習った新しい文法や単語を使用して韓国文化に関する質問をしたり、トウミからの日本に関する質問に答えていたりする中で、自分の韓国語の能力が日々上達していることを実感することができました。ですので、トウミとの交流の際はいくつか質問を考えていくことをお勧めします。

私は留学申し込みの直前まで留学に行くか迷っていましたが、先生方や家族と相談して今回の留学に参加したしましたが、もし悩んでいる人がいるならぜひ参加してほしいです。現地でしか感じることをできないことがたくさんあって、自分の人生の視野が広がります。また、4か月間協力して生活した nuis の学生とはとても仲が深まりました。4か月間、悔いのないようにたくさんさんのことを吸収してきてほしいです。